

行政調査報告書

沼田市議会議長様

令和7年 4月 9日

会派外議員

氏名：井上 弘

政務活動費を使用した行政調査について、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

1	期日	令和6年10月3日(木)～4日(金)
2	場所	福島県二本松市
3	調査事項	福祉タクシー「ようたすカー」の取組について
4	参加議員	井上議員
5	調査概要	①調査目的、②調査内容等を記入（別紙で調査資料及び写真等を添付）

概要：福島県二本松市

調査事項：福祉タクシー「ようたすカー」の取組について

6	所 感	調査後の考察（感想、政策提言、本市にどのように活かせるかなど）を記入
		・沼田市のような中山間市にとって地域公共交通は高齢者などの交通弱者にとって大事な足になっている。しかし、現実には様々な要因で高齢者の足たり得ず、免許返納などの障害になっている事実がある。
		二本松市が実施している「ようたすカー」は高齢者のための福祉サービスの一環で、65歳以上の高齢者や障害者等が、通院や買い物、公共施設に向うときに利用できる乗合型タクシーである。利用料は、エリア内大人1回（1乗降）300円で、沼田市の「ぬまくる」とそれほど変わらない。75歳以上の方は、別に「高齢者無料乗車証」の登録申請をすると利用料が無料となる。
		沼田市よりも一步進んだ取組であるように感じるが、沼田市が地域公共交通の充実を出発点としているのに比べて、生活交通の確保より移動制約者への対応により重点を置いてサービスを実現しているのであろう。
		沼田市議会にも『高齢運転者への「後付け急発進抑制装置」購入に補助を求める請願書』が提出されたが、高齢者が無理に運転しなくても良い、免許を返納しやすい世の中にしていくには、移動制約者への対応に重点を置いたサービスの充実が求められることは、間違いない。地域公共交通の充実の中でも、高齢者や障害者等がより利用しやすいサービスを充実させていくことがより利用しやすい地域公共交通の充実につながっていくと考える。
		二本松市では地域公共交通計画の策定にあたり、商業施設や医療施設の立地状況などを調査、地域性を考慮した公共交通事業を実施していた。「ようたすカー」もその中の一つで、二本松地域でのみ実施されていた。
		広大な面積を有する沼田市でも、地域に応じた公共交通のあり方を検討しなければならないのではないかと考える。
		「ぬまくる」もまだ始まったばかりではあるが、今後ますます利用しやすいように改良が必要になる。もしかしたら、公共交通事業として実施するよりも福祉事業として実施した方が様々な負担が少なくなるようなことも考えられる。この事業がそういったときの参考になるのではないだろうか。